

平成16年度経営構造対策事業計画評価表(第3年度目)

都道府県名	石川県			施設整備	事業内容	実施(予定)年度	受益戸数	受益面積
市町村名	寺井町、根上町 辰口町、川北町				米麦流通合理化施設	平成14年度	708	910.0
地区名	能美地区				大豆乾燥調整貯蔵施設	平成14年度	61	70.0
認定年度	14	目標年度	18		米乾燥調整施設	平成15年度	379	240.0
					高生産性農業用機械施設	平成15年度	32	21.0

1 全国共通目標

事項	計画時	目標	目標達成プログラム (上段:計画 中段:実績 下段:達成率)					達成状況 (評価)
			1年度目	2年度目	3年度目	4年度目	5年度目	
認定農業者の育成 (人)	36	71	38	45	71	71	71	
			39	48	74			
			150.0%	133.3%	108.6%			
担い手への農地の利用集積 ha 上段()は 集積率で%	(25.7%) 625.0	(40.0%) 973.0	(25.7%) 625.0ha	(25.7%) 625.0ha	(29.8%) 725.0ha	(33.9%) 825.0ha	(40.0%) 973.0ha	
			(25.7%) 625.0ha	(28.7%) 641.8ha	(32.7%) 725.0ha	()	()	
			100.0%	皆増	100.0%			
遊休農地の解消 (ha)			0.0ha	0.0ha	0.0ha			
			0.0ha	0.0ha	0.0ha			
			100.0%	100.0%	100.0%			
地域提案目標 (項目:)								

2 地区選択目標

(1) 一般選択目標

事項	計画時	目標	目標達成プログラム (上段:計画 中段:実績 下段:達成率)					達成状況 (評価)
			1年度目	2年度目	3年度目	4年度目	5年度目	
法人組織経営体の育成 (単位:法人数)	23	32	24	26	32	32	32	
			24	26	30			
			100.0%	100.0%	77.8%			

(2) 水田農業構造改革目標

ア. 作付面積

作物名	計画時	目標	達成状況 (上段:計画 中段:実績 下段:達成率)					達成状況 (評価)
			1年度目	2年度目	3年度目	4年度目	5年度目	
大豆	143.0	180.0	143.0	150.0	180.0	180.0	180.0	×
			151.3	156.0	128.0			
			皆増	185.7%	-40.5%			

イ．販売計画

作物名	計画時	目標	達成状況 (上段：計画 中段：実績 下段：達成率)					達成状況 (評価)
			1年度目	2年度目	3年度目	4年度目	5年度目	
大豆	307.0	388.0	307.0	322.0	388.0	388.0	388.0	×
			207.0	182.0	77.3			
			0.0%	- 833.3%	- 283.6%			

3 所見及び改善措置等

(1) 全国共通目標

認定農業者の育成

農林総合事務所、市、農協、営農組織及び中核農家の連携をさらに強化し、認定農業者育成を推進する。

担い手への農地の利用集積

貸し手、借り手側の的確なニーズの把握、効率的な契約事務の遂行等により、利用集積を推進する。

遊休農地の解消

土地利用計画に基づき農地の有効利用が図られているが、生産者の高齢化等により、今後出現が危惧される。

地域提案目標

(2) 地区選択目標

法人組織経営体については、今後設立を模索する集落について、関係機関等との連携を図り計画的な育成を図る。大豆の作付面積は、平成15年産米の不作により水稲作付面積の増98haと石川県内での地域間調整による水稲作付面積拡大分107haにより前年より206haの面積が増加したことにより、転作率が29.4%から23.4%と緩和となり、大豆の作付面積も128haと減少した。

大豆の収量については、5月下旬の播種直後大雨による湿害により発芽不良・茎疫病が発生した。全体的に育成量不足の状態が開花期をむかえ、さらに度重なる台風の影響で、強制落葉やサヤが損傷し充実不足により小粒となり、品質においても腐敗粒及び未熟粒が多く平成10年来の凶作となった。ここ数年大雨、台風等、天災に悩まされており、単収の向上も難しい状況であるが、営農指導の強化を図り担い手農家を中心とした大豆の作付拡大に努める。

実需者ニーズに対応した新品種の選定・普及や生産者及び実需者、消費者との交流をすすめ、地場消費の拡大を目指す。

(3) 施設の利用状況

高生産性農業機械（大豆コンバイン）については、利用面積を確保し利用率及び担い手利用の向上に努める

大豆乾燥調整施設については、平成16年度は利用面積69haとほぼ計画面積を確保していたが、去年は苗立ち不良及び相次ぐ台風被害により受入粗大豆量70.8t、製品大豆率が低く（45t）利用率が低下した。

今後は大豆の連作障害を克服し本来の収穫量10a250kgを確保し利用率向上に努める

米流通合理化施設については、今後更に担い手の利用率の向上に努める

米乾燥調整施設については、今後更に担い手の利用率の向上に努める

(1) 全国共通目標

水稲種子及び大豆に係る機械施設の整備・活用により全国共通目標を達成することができた。今後も、引き続き効率的利用を図ることにより、計画通りに認定農業者の育成及び担い手への農地の利用集積を推進していく必要がある。

(2) 地区選択目標

法人組織経営体の育成については、年次プログラムを概ね達成することができたが、今後も引き続き、関係機関の連携を強化し、集落営農組織等に対して推進する必要がある。

大豆の作付面積については、米政策改革により水稲作付面積が増加した分、大豆の栽培面積が減少したため目標を達成することができなかった。今後は、関係機関の連携を強化し、産地づくり交付金による助成等により作付け拡大を図る必要がある。

大豆の販売計画についても、作付面積が減少したこと及び台風の影響で単収が減少したことにより、目標を達成することができなかった。これについては、今後の県の第三者委員会により不可抗力として諮る予定であり改善計画の作成を要しない。

(3) 施設の利用状況

大豆コンバイン、ラック倉庫については概ね計画通り利用されたが、大豆乾燥調製施設については、台風の影響により収量が減少したことから、計画通りの利用ができなかった。今後は、関係機関の連携を強化し、基本技術の徹底により単収増加・品質向上を図り、高品質大豆を確保することにより計画通りの利用に努める必要がある。

米乾燥調製施設及び流通合理化施設については、今後も担い手を中心に利用を呼びかけ、計画通りの利用に努める必要がある。

添付資料 2

施設等の利用状況及び担い手の受益割合報告書

施設名	事業実施主体（管理主体）
高生産性農業用機械施設	能美農業協同組合

1 利用計画に対する利用状況

		高生産性農業機械 (ha)	利用率 (%)	達成状況
利用計画		21 ^(a)		
実績	平成15年度	20.26 ^(b)	96.5 ^{(b)/(a)}	
	平成16年度	21.50 ^(c)	102.3 ^{(c)/(a)}	○
	平成 年度	^(d)	^{(d)/(a)}	

2 担い手の受益割合

		高生産性農業機械 (ha)	左のうち担い手の利用 (ha) B	担い手の受益割合 (%) B/A	達成状況
利用計画		A 21			
実績	平成15年度	20.26	18.5	91.3	
	平成16年度	21.50	19.9	92.6	
	平成 年度				

添付資料 2

施設等の利用状況及び担い手の受益割合報告書

施設名	事業実施主体（管理主体）
大豆乾燥調整貯蔵施設	能美農業協同組合

1 利用計画に対する利用状況

		大豆乾燥調整施設 (t)	利用率 (%)	達成状況
利用計画		175 (a)		
実績	平成15年度	73 (b)	41.7 (b)/(a)	×
	平成16年度	45 (c)	25.7 (c)/(a)	×
	平成 年度	(d)	(d)/(a)	

2 担い手の受益割合

		大豆乾燥調整施設 (t) A	左のうち担い手の利用 (t) B	担い手の受益割合 (%) B/A	達成状況
利用計画		175			
実績	平成15年度	73	52	71.2	
	平成16年度	45	34	75.6	
	平成 年度				

添付資料 2

施設等の利用状況及び担い手の受益割合報告書

施設名	事業実施主体（管理主体）
米流通合理化施設	能美農業協同組合

1 利用計画に対する利用状況

		米流通合理化施設 (t)	利用率 (%)	達成状況
利用計画		2,477 (a)		
実績	平成15年度	1,434 (b)	57.9 (b)/(a)	×
	平成16年度	2,333 (c)	94.2 (c)/(a)	○
	平成 年度	(d)	(d)/(a)	

2 担い手の受益割合

		米流通合理化施設 (t) A	左のうち担い手の利用 (t) B	担い手の受益割合 (%) B/A	達成状況
利用計画		2,477			
実績	平成15年度	1,434	873	60.9	
	平成16年度	2,333	1,430	61.3	
	平成 年度				

添付資料 2

施設等の利用状況及び担い手の受益割合報告書

施設名	事業実施主体（管理主体）
米乾燥調整施設	能美農業協同組合

1 利用計画に対する利用状況

		米乾燥調整施設 (t)	利用率 (%)	達成状況
利用計画		1,301 (a)		
実績	平成16年度	1,035 (b)	79.6 (b)/(a)	
	平成 年度	(c)	(c)/(a)	
	平成 年度	(d)	(d)/(a)	

2 担い手の受益割合

		米流通合理化施設 (t) A	左のうち担い手の利用 (t) B	担い手の受益割合 (%) B/A	達成状況
利用計画		1,301			
実績	平成16年度	1,035	591	57.1	
	平成 年度				
	平成 年度				